

野村中国債券ファンド (毎月分配型)

運用報告書(全体版)

第8期(決算日2020年1月14日) 第9期(決算日2020年2月13日) 第10期(決算日2020年3月13日)
第11期(決算日2020年4月13日) 第12期(決算日2020年5月13日) 第13期(決算日2020年6月15日)

作成対象期間(2019年12月14日～2020年6月15日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2019年3月25日から2024年6月13日までです。
運用方針	中国人民元建ての公社債等への投資効果を追求する投資信託証券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行います。 中国関連の発行体が発行する公社債等を実質的な投資対象とする投資信託証券を複数選定し、投資を行います。投資信託証券への投資にあたっては、別に定める投資信託証券の一部もしくは全てに投資を行うことを基本とします。投資する投資信託証券は、投資対象市場の動向等を勘案して適宜見直しを行います。
主な投資対象	中国人民元建ての公社債等への投資効果を追求する投資信託証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益等を中心に分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産額
		税分配	み騰落率				
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2019年3月25日	10,000		—	—	—	—	191
1期(2019年6月13日)	9,687		20	△2.9	23.5	—	185
2期(2019年7月16日)	9,783		20	1.2	23.5	—	187
3期(2019年8月13日)	9,441		20	△3.3	23.1	—	180
4期(2019年9月13日)	9,620		20	2.1	22.9	—	184
5期(2019年10月15日)	9,621		20	0.2	21.4	—	184
6期(2019年11月13日)	9,758		20	1.6	21.2	—	186
7期(2019年12月13日)	9,759		20	0.2	21.7	—	186
8期(2020年1月14日)	10,011		20	2.8	21.6	—	191
9期(2020年2月13日)	10,038		20	0.5	21.2	—	191
10期(2020年3月13日)	9,616		20	△4.0	21.1	—	183
11期(2020年4月13日)	9,806		20	2.2	21.2	—	187
12期(2020年5月13日)	9,668		20	△1.2	21.0	—	185
13期(2020年6月15日)	9,721		20	0.8	20.6	—	185

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	信 託 券 率
		騰 落 率	騰 落 率				
第8期	(期首) 2019年12月13日	円 9,759	% -	% 21.7	% -	% -	% 76.9
	12月末	9,845	0.9	21.3	-	-	77.2
	(期末) 2020年1月14日	10,031	2.8	21.6	-	-	77.0
第9期	(期首) 2020年1月14日	10,011	-	21.6	-	-	77.0
	1月末	10,053	0.4	21.0	-	-	77.6
	(期末) 2020年2月13日	10,058	0.5	21.2	-	-	77.3
第10期	(期首) 2020年2月13日	10,038	-	21.2	-	-	77.3
	2月末	10,090	0.5	21.0	-	-	77.6
	(期末) 2020年3月13日	9,636	△4.0	21.1	-	-	77.3
第11期	(期首) 2020年3月13日	9,616	-	21.1	-	-	77.3
	3月末	9,710	1.0	21.3	-	-	77.1
	(期末) 2020年4月13日	9,826	2.2	21.2	-	-	77.0
第12期	(期首) 2020年4月13日	9,806	-	21.2	-	-	77.0
	4月末	9,623	△1.9	20.9	-	-	76.8
	(期末) 2020年5月13日	9,688	△1.2	21.0	-	-	76.7
第13期	(期首) 2020年5月13日	9,668	-	21.0	-	-	76.7
	5月末	9,662	△0.1	20.8	-	-	76.9
	(期末) 2020年6月15日	9,741	0.8	20.6	-	-	77.1

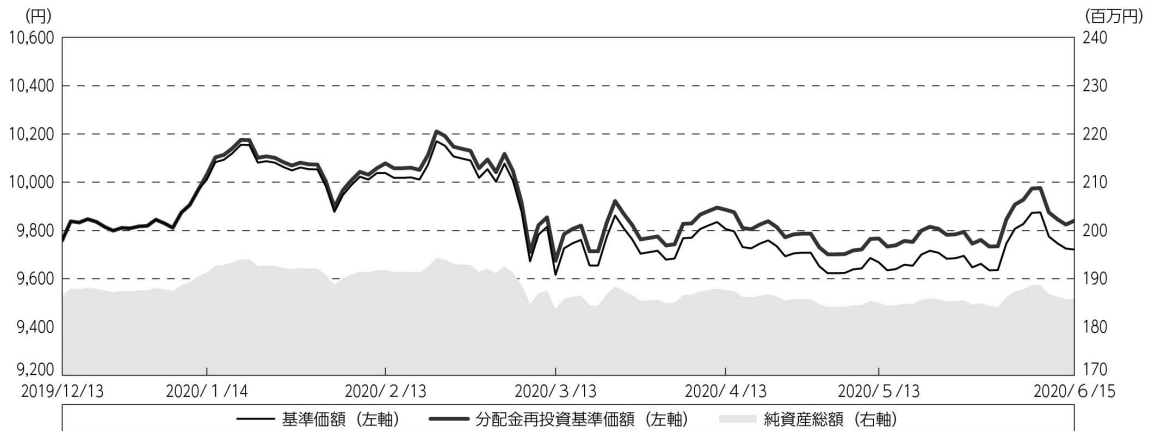
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第8期首：9,759円

第13期末：9,721円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：0.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年12月13日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

* 基準価額は0.84%の上昇（課税前分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。）

基準価額は、当作成期首の9,759円から当作成期末9,721円（分配後）となりました。第8期から第13期まで分配金を合計で120円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は82円となりました。

（上昇要因）

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。
- ・保有していた債券の値上がり（キャピタルゲイン）。

（下落要因）

- ・人民元が対円で下落したこと。

○投資環境

中国の人民元建て債券市場では、当作成期間に国債利回りが低下（価格は上昇）しました。中国では、新型肺炎の感染拡大に伴い、中国経済への悪影響が懸念される中で、金融緩和策が実施されました。事実上の政策金利であるLPR（ローン・プライム・レート）の1年物の引き下げが複数回発表される中で、中国の国債利回りは低下しました。

中国の米ドル建て社債市場では、米国債の利回りの低下が中国社債のクレジットスプレッド（米国債との利回り格差）の拡大を上回ったことから、社債利回りは低下しました。米国では新型肺炎の感染拡大による経済への悪影響が懸念される中で、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融緩和策が発表され、米国債の利回りは低下しました。一方で、景気の先行き懸念などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、クレジットスプレッドは拡大しました。

為替市場では、中国の全国人民代表大会において、「香港国家安全法」の制定方針が採択されたことに対し、米国が懸念を示すなど、米中間の関係性の悪化が懸念されました。このような環境下、中国人民幣は対米ドル、対円で下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村中国債券ファンド（毎月分配型）〕

〔野村中国債券ファンド（毎月分配型）〕は、〔ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY〕受益証券および〔中国人民幣元建債券マザーファンド〕受益証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

当作成期間においては、〔ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY〕受益証券および〔中国人民幣元建債券マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れました。

〔ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY〕

中国関連の発行体[※]が発行する米ドル建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは、3～7年程度の水準に維持しました。米ドル建て資産について、米ドル売り・人民幣買いの為替取引を行ないました。

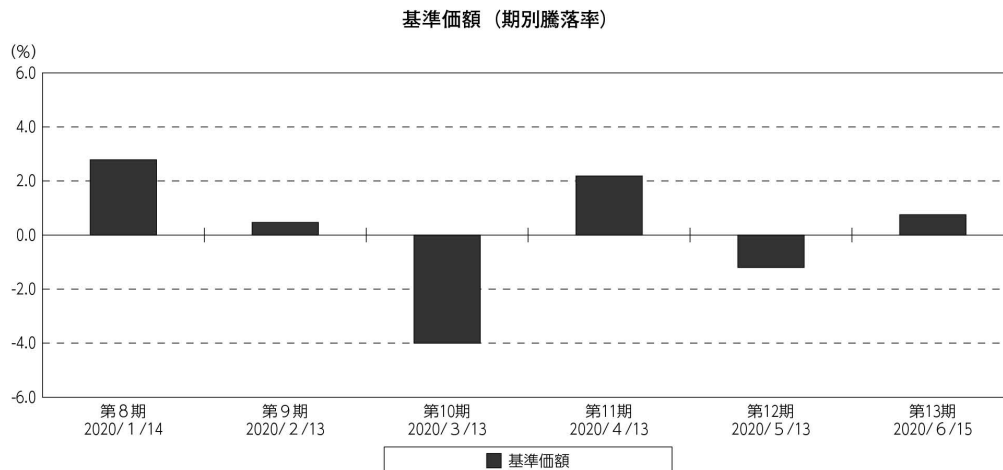
※当ファンドにおいて「中国関連の発行体」とは、中国政府、中国の企業、およびその子会社や関連会社、金融子会社等、ならびに、事業を通じて中国と関連があると投資顧問会社が判断する発行体（アジア開発銀行、国際復興開発銀行等の国際機関を含みます。）のことを指します。

[中国人民元建債券マザーファンド]

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは、3～5年程度の水準に維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案して、次の通りとさせていただきます。なお留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
	2019年12月14日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月13日	2020年2月14日～ 2020年3月13日	2020年3月14日～ 2020年4月13日	2020年4月14日～ 2020年5月13日	2020年5月14日～ 2020年6月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.199%	20 0.199%	20 0.208%	20 0.204%	20 0.206%	20 0.205%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	97	106	111	126	131	142

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY]

中国関連の発行体が発行する米ドル建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。ポートフォリオのデュレーションは、原則として8年以内に維持することを基本とします。米ドル建て資産について、原則として、米ドル売り・人民元買いの為替取引を行ないます。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

[中国人民元建債券マザーファンド]

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。ポートフォリオのデュレーションは、原則として8年以内に維持することを基本とします。

[野村中国債券ファンド（毎月分配型）]

[ノムラ・セレクション・ファンドーチャイナ・ボンド・ファンドークラスCNY] および [中国人民元建債券マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、インカムゲインの確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

（2019年12月14日～2020年6月15日）

○ 1 万口当たりの費用明細

項 目	第 8 期～第13期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 73	% 0.745	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(38)	(0.389)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(33)	(0.334)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.004	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	73	0.749	
作成期間の平均基準価額は、9,830円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

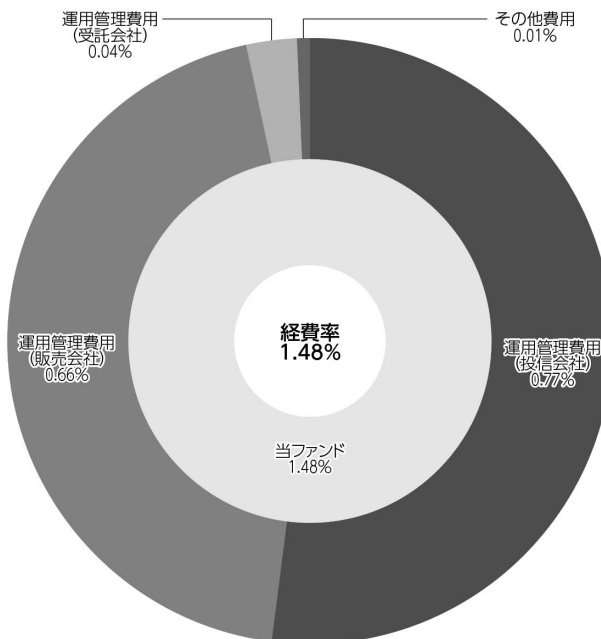
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.48%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.48
①当ファンドの費用の比率	1.48
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(2019年12月14日～2020年6月15日)

○売買及び取引の状況

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月14日～2020年6月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2019年12月14日～2020年6月15日)

第8期首残高 (元 本)	設定元本	解約元本	第13期末残高 (元 本)	取引の理由
百万円 191	百万円 -	百万円 -	百万円 191	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年6月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第7期末		第13期末	
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・セレクション・ファンド-チャイナ・ボンド・ファンド-クラスCNY	口	口	千円	%
	14,738	14,738	143,297	77.1
合 計	14,738	14,738	143,297	77.1

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第7期末		第13期末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
中国人民元建債券マザーファンド	千口	千口	千円	千円
	42,243	42,243	41,309	41,309

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2020年6月15日現在）

項 目	第13期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	143,297	76.9
中国人民元建債券マザーファンド	41,309	22.2
コール・ローン等、その他	1,802	0.9
投資信託財産総額	186,408	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*中国人民元建債券マザーファンドにおいて、第13期末における外貨建て純資産（81,566千円）の投資信託財産総額（84,645千円）に対する比率は96.4%です。

*外貨建て資産は、第13期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オフショア人民元=15.13円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末	第13期末
	2020年1月14日現在	2020年2月13日現在	2020年3月13日現在	2020年4月13日現在	2020年5月13日現在	2020年6月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	191,914,134	192,421,264	184,346,994	188,296,635	185,651,822	186,408,343
コール・ローン等	1,887,099	1,854,936	1,828,946	1,528,117	2,098,442	1,801,246
投資信託受益証券(評価額)	147,217,882	148,323,232	142,015,368	144,476,614	141,897,464	143,297,574
中国人民元建債券マザーファンド(評価額)	42,809,153	42,243,096	40,502,680	41,702,384	41,655,916	41,309,523
未収配当金	—	—	—	589,520	—	—
(B) 負債	624,893	614,578	606,307	615,242	607,099	639,477
未払収益分配金	382,167	382,174	382,172	382,793	382,807	382,204
未払解約金	—	—	—	—	—	10,000
未払信託報酬	242,370	232,070	223,808	232,108	223,961	246,909
未払利息	1	—	3	—	1	1
その他未払費用	355	334	324	341	330	363
(C) 純資産総額(A-B)	191,289,241	191,806,686	183,740,687	187,681,393	185,044,723	185,768,866
元本	191,083,800	191,087,027	191,086,194	191,396,898	191,403,662	191,102,404
次期繰越損益金	205,441	719,659	△ 7,345,507	△ 3,715,505	△ 6,358,939	△ 5,333,538
(D) 受益権総口数	191,083,800口	191,087,027口	191,086,194口	191,396,898口	191,403,662口	191,102,404口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,011円	10,038円	9,616円	9,806円	9,668円	9,721円

(注) 第8期首元本額は191,059,416円、第8～13期中追加設定元本額は369,092円、第8～13期中一部解約元本額は326,104円、1口当たり純資産額は、第8期1.0011円、第9期1.0038円、第10期0.9616円、第11期0.9806円、第12期0.9668円、第13期0.9721円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額127,851円。(中国人民元建債券マザーファンド)

○損益の状況

項 目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
	2019年12月14日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月13日	2020年2月14日～ 2020年3月13日	2020年3月14日～ 2020年4月13日	2020年4月14日～ 2020年5月13日	2020年5月14日～ 2020年6月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	589,480	589,511	589,497	589,484	589,487	589,446
受取配当金	589,520	589,520	589,520	589,520	589,520	589,502
支払利息	△ 40	△ 9	△ 23	△ 36	△ 33	△ 56
(B) 有価証券売買損益	4,843,461	539,293	△8,048,326	3,660,950	△2,625,618	1,054,662
売買益	4,843,461	1,105,350	—	3,660,950	—	1,400,896
売買損	—	△ 566,057	△8,048,326	—	△2,625,618	△ 346,234
(C) 信託報酬等	△ 242,725	△ 232,404	△ 224,132	△ 232,449	△ 224,291	△ 247,272
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	5,190,216	896,400	△7,682,961	4,017,985	△2,260,422	1,396,836
(E) 前期繰越損益金	△4,599,741	208,308	722,509	△7,342,624	△3,707,432	△6,339,585
(F) 追加信託差損益金	△ 2,867	△ 2,875	△ 2,883	△ 8,073	△ 8,278	△ 8,585
(配当等相当額)	(1,514)	(1,553)	(1,652)	(5,725)	(5,895)	(6,077)
(売買損益相当額)	(△ 4,381)	(△ 4,428)	(△ 4,535)	(△ 13,798)	(△ 14,173)	(△ 14,662)
(G) 計(D+E+F)	587,608	1,101,833	△6,963,335	△3,332,712	△5,976,132	△4,951,334
(H) 収益分配金	△ 382,167	△ 382,174	△ 382,172	△ 382,793	△ 382,807	△ 382,204
次期繰越損益金(G+H)	205,441	719,659	△7,345,507	△3,715,505	△6,358,939	△5,333,538
追加信託差損益金	△ 2,867	△ 2,875	△ 2,883	△ 8,073	△ 8,278	△ 8,585
(配当等相当額)	(1,521)	(1,553)	(1,653)	(5,804)	(5,896)	(6,081)
(売買損益相当額)	(△ 4,388)	(△ 4,428)	(△ 4,536)	(△ 13,877)	(△ 14,174)	(△ 14,666)
分配準備積立金	1,863,890	2,040,583	2,131,283	2,414,653	2,504,421	2,719,547
繰越損益金	△1,655,582	△1,318,049	△9,473,907	△6,122,085	△8,855,082	△8,044,500

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年12月14日～2020年6月15日)は以下の通りです。

項 目	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
	2019年12月14日～ 2020年1月14日	2020年1月15日～ 2020年2月13日	2020年2月14日～ 2020年3月13日	2020年3月14日～ 2020年4月13日	2020年4月14日～ 2020年5月13日	2020年5月14日～ 2020年6月15日
a. 配当等収益(経費控除後)	680,634円	558,867円	472,967円	666,163円	472,575円	600,871円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,521円	1,553円	1,653円	5,804円	5,896円	6,081円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,565,423円	1,863,890円	2,040,488円	2,131,283円	2,414,653円	2,500,880円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,247,578円	2,424,310円	2,515,108円	2,803,250円	2,893,124円	3,107,832円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	117円	126円	131円	146円	151円	162円
g. 分配金	382,167円	382,174円	382,172円	382,793円	382,807円	382,204円
h. 分配金(1万円当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○分配金のお知らせ

	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期	第13期
1万円当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

中国人民元建債券マザーファンド

運用報告書

第2期（決算日2020年6月15日）

作成対象期間（2019年6月14日～2020年6月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	中国関連の発行体が発行する中国人民元建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とし、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行います。
主な投資対象	中国関連の発行体が発行する中国人民元建ての公社債等（国債、ソブリン債（含む国際機関債）、準ソブリン債、社債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資は、転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）を行使したものおよび社債権者割当等により取得したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	騰 落 率	中 率			
(設定日) 2019年3月25日	円 10,000	% —	% —	% —	百万円 95
1期(2019年6月13日)	9,587	△4.1	95.9	—	91
2期(2020年6月15日)	9,779	2.0	92.7	—	84

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	騰 落 率
	騰 落 率	中 率			
(期 首) 2019年6月13日	円 9,587	% —	% 95.9	% —	% —
6月末	9,640	0.6	95.8	—	—
7月末	9,777	2.0	95.5	—	—
8月末	9,284	△3.2	95.2	—	—
9月末	9,448	△1.4	97.2	—	—
10月末	9,669	0.9	96.9	—	—
11月末	9,779	2.0	96.7	—	—
12月末	9,860	2.8	96.4	—	—
2020年1月末	9,912	3.4	96.1	—	—
2月末	9,979	4.1	95.9	—	—
3月末	9,804	2.3	95.6	—	—
4月末	9,794	2.2	93.1	—	—
5月末	9,801	2.2	92.9	—	—
(期 末) 2020年6月15日	9,779	2.0	92.7	—	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】
(2019年6月14日～2020年6月15日)



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は2.00%の上昇

基準価額は、当作成期首の9,587円から当作成期末9,779円となりました。値上がり額は192円となりました。

(上昇要因)

- ・債券を保有していたことによる利息収入（インカムゲイン）。
- ・保有していた債券の値上がり（キャピタルゲイン）。

(下落要因)

- ・人民元が対円で下落したこと。

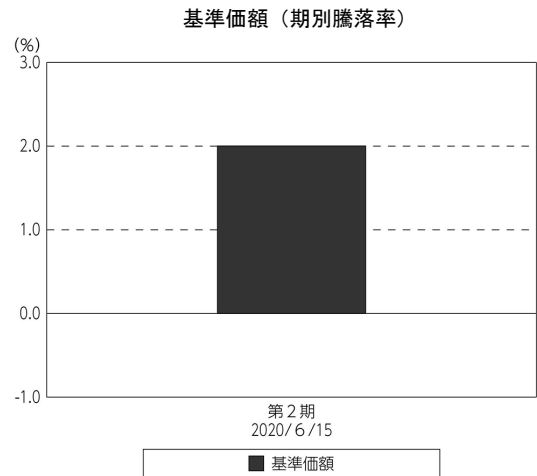
○当ファンドのポートフォリオ

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないました。ポートフォリオのデュレーションは、3～5年程度の水準を維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



○今後の運用方針

資金動向、市況動向、投資環境を鑑みながら、人民元建ての公社債等への投資を通じて、インカムゲインの確保と信託財産の成長を目標に運用を行ないます。ポートフォリオのデュレーションは、原則として8年以内に維持することを基本とします。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2019年6月14日～2020年6月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	2	0.017	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
(そ の 他)	(1)	(0.010)	
	(1)	(0.007)	
合 計	2	0.017	
期中の平均基準価額は、9,728円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月14日～2020年6月15日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	中国オフショア	国債証券	千オフショア人民元 -	千オフショア人民元 506

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月14日～2020年6月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2020年6月15日現在)

○組入資産の明細

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
中国オフショア	千オフショア人民元 5,000	千オフショア人民元 5,187	千円 78,494	% 92.7	% —	% 27.8	% 37.4	% 27.5
合 計	5,000	5,187	78,494	92.7	—	27.8	37.4	27.5

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
中国オフショア		%	千オフショア人民元	千オフショア人民元	千円	
国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	3.36	1,500	1,536	23,244	2022/5/21
	CHINA GOVERNMENT BOND	3.8	2,000	2,093	31,680	2023/7/9
	CHINA GOVERNMENT BOND	3.38	1,500	1,557	23,569	2026/7/4
合 計					78,494	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 78,494	% 92.7
コール・ローン等、その他	6,151	7.3
投資信託財産総額	84,645	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建て純資産(81,566千円)の投資信託財産総額(84,645千円)に対する比率は96.4%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オフショア人民元=15.13円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年6月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	84,645,309
コール・ローン等	5,262,791
公社債(評価額)	78,494,204
未収利息	888,314
(B) 負債	1
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	84,645,308
元本	86,556,671
次期繰越損益金	△ 1,911,363
(D) 受益権総口数	86,556,671口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,779円

(注) 期首元本額は95,000,000円、期中追加設定元本額は3,104,202円、期中一部解約元本額は11,547,531円、1口当たり純資産額は0.9779円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村中国債券ファンド(年2回決算型) 44,313,575円
 ・野村中国債券ファンド(毎月分配型) 42,243,096円

○損益の状況 (2019年6月14日～2020年6月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,778,658
受取利息	2,779,065
支払利息	△ 407
(B) 有価証券売買損益	△1,191,071
売買益	1,783,251
売買損	△2,974,322
(C) 保管費用等	△ 14,368
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,573,219
(E) 前期繰越損益金	△3,927,911
(F) 追加信託差損益金	△ 104,202
(G) 解約差損益金	547,531
(H) 計(D+E+F+G)	△1,911,363
次期繰越損益金(H)	△1,911,363

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2020年6月15日現在)

年 月	日
2020年6月	23、25、26
7月	1、31
8月	-
9月	7、25、28、29、30
10月	1、2、5、6、7、8、12、26
11月	11、26
12月	24、25

※2020年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。